

e ラーニング研修「最終レポート」

| | |
|-------------|--|
| 教科・領域等 | 国語 |
| 授業タイトル | 事実を的確に伝えよう（6年2組ニュースステーション） |
| 対象学年 | 6年生 |
| 実施場所 | 教室を始め学校敷地内すべて |
| ICT 活用授業の内容 | <p>◎ 授業のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6年の卒業制作として、班の友達と協力し、学校紹介ニュースを作ることができる。 ・ 調べていく中で、自分たちの6年間をふり返ることができる。 ・ 聞く側の気持ちになって、わかりやすく（声の強弱や速さ、間の取り方やテンポ、顔の表情）伝えることができる。 ・ 発表者の発表の仕方の手本にしたいところを見つけることができる。 <p>◎ 授業の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 実際のニュース番組を見て、手本にしたいところや工夫しているところを探す。そして、ニュース作りの計画を立てていく。（5年の国語「ニュース番組を作ろう」を参考） <ul style="list-style-type: none"> ・ 題材探し（一番伝えたい事、取材者の思い出、大事件、下級生の知らない出来事） 2 取材やインタビューをする。取材などを通して、伝えたい内容をさらにしぼっていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料集め ・ 必要に応じてビデオカメラ、デジカメを持参し、撮影する。 ・ 何度かビデオリハーサルをし、ビデオをとおした自分の声の聞こえ方を確認する。 3 ニュースの進行（どこで取材の映像を入れるか）や原稿を考える。 4 ビデオカメラで自分たちのニュース番組を教室の中で撮る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 録画を班で点検し、改善点があれば、原稿にメモし、撮り直す。 5 すべての班のニュースを視聴する。良いところや楽しく見れたところなど、発表したり、感想を共有する。 <p>◎ ICT 活用のねらいと授業での位置づけ</p> <p>ビデオカメラやデジカメを使うので、自分を客観的に見ることができ、改善点も見つけやすい。ただ、何度もやり直しができるという安心感もうまれやすいので、子どものニュースキャスターとしての気持ちを盛り上げていくことが大事である。</p> <p>また、何度も改善することで、自分の成長がわかり、自信にもつながっていくはずである。</p> <p>さらに、自分や友達のニュースを見ることで、わかりやすい話し方や表情、身ぶりを学ぶこともできる。人へのやさしいアドバイスの仕方も身につけられる。</p> |
| 活用 ICT メディア | パソコン、プロジェクター、スクリーン、ビデオカメラ、テレビ |
| 活用するコンテンツ等 | なし ICT 活用指導案レポートを参考 |